

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(754)1111
担当部課名	土木部	道路整備	課	市道整備
事務事業名	道路改良事業(市内一円)		事業コード	32220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	安全でゆとりある道路の整備	~63 年度
施策名	第2施策	身近な生活道路の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

道路構造令

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
住民の生活に密接に関わる、身近な生活道路に対する改良要望(隅切りの確保、局部的な視距の改善、車両退避場所の確保、暫定歩道の設置等)に対し、迅速、かつ効果的に対処し、道路環境の改善を図る。		要望者数又は要望箇所	
		対象数	箇所
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
【局部改良工事・道路用地管理工事】：6箇所 市道相原134号ほか1局部改良工事 市道田名452号道路用地管理工事 市道橋本32号ほか1道路用地管理工事 市道相原高校前通ほか1局部改良工事 市道東淵野辺8号局部改良工事 市道四ツ谷半在家道路用地管理工事		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名 道路整備10ヵ年計画 計画年次 年度～年度 道路改良等要望台帳による総括管理を行い、計画的、効果的、経済的な対応を図る。	

4 評価指標

指標名	対応(実施)率		
指標式	対応(実施)件数 / 要望等の件数 * 100 (%)		
指標設定の意図	対応(実施)率を把握することで目標達成度を表す		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	100	100	a 100	b 100	100
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	20,329	14,372	11,019	13,000
	人員・時間数	0.5人	0.7人	0.7人	0.7人
	人件費	4,210	5,894	5,894	5,894
	その他経費				
	合計	24,539	20,266	16,913	18,894
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	目標は達成しているものの、改良のための用地の協力が満足に得られなかったり、抜本的な解決には大規模な改良が必要のため、十分な対応ができないケースがある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	身近な生活道路の安全が確保され、生活環境が改善される効果が期待できる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	小規模工事となり、経済性・効率性は悪い。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	道路は公共的な都市施設の根幹であり、市が主体となって実施することが適当で、民間への変更の可能性は無い。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	身近な生活道路の安全が確保され、生活環境の改善につながるものの、一部については大規模な、抜本的な改良が必要なケースもあり、必ずしも十分な満足が得られているとは限らない。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	当該事業は上位施策実施までの間の、暫定的な事業である一面もあるが、必要不可欠であり有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 計画的な整備で、事業実施までの時間を短縮することで成果向上の余地がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 画一的な整備手法から、時限的な耐久性等を考慮した暫定整備手法等を取り入れることでコスト改善の余地がある。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	担当部署・執行計画・方法等に若干の違いがあるものの、ほぼ同様の事業展開である。
今後の進め方		説明	必要不可欠な事業であるが、対処療法的な整備手法を採らざるを得ない面もあり、予算内で最大限の効果が上がるよう実施した。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--